

150年にわたるヤスクニ・天皇制の呪縛からの解放と私たちの信仰

—緊迫する憲法状況・政治状況の中で—

きむら ようご

木村 庸五 弁護士



日本キリスト改革派湖北台教会(千葉県我孫子市)長老
1943年生まれ、東京大学法学部政治学科卒業
1984～1986年 ミシガン大学ロースクール(法学修士号取得)
1977年弁護士登録
1977～1982年 今村嗣夫法律事務所
1982～2008年 濱田松本法律事務所(2002年12月～合併により森・濱田松本法律事務所)
2008～2017年 企業内弁護士
2017年～現在 狛・小野グローバル法律事務所パートナー
2004年～現在 第二東京弁護士会 憲法問題検討委員会
2004～2014年 日弁連 憲法委員会委員
2014年～現在 日弁連 憲法問題対策本部幹事
安倍首相靖国神社参拝違憲訴訟弁護団長
即位の礼・大嘗祭国費支出差止等請求訴訟弁護団

【講師から一言】

一党独裁的政権下での権力の私物化、情報隠蔽・改ざんによる不正行為の横行など、難問山積の中、首相の靖国神社参拝、天皇の退位・即位大嘗祭など、政教分離違反行為が横行し、国家主義体制が強化されつつあります。キリスト者として、これらの問題に対して、どこに基本的立脚点を据え、どう捉え、いかに行動すべきかを共に考える機会としたい。

2019年2月11日(月)

10時30分～

会場 日本同盟基督教団 中野教会

問合せ「教会と国家」委員会 090-8560-4557(小林)

参加される方は、スリッパをご持参ください

